



写真3 中央が地元で開業されている鍼灸師の佐藤恵理子さん

須賀 実際には現地の方々の仕事のじゃまをするほど治療できないので、最低限の気遣いは絶対にしないと駄目ですが、要請があったところに行くというふうに臨機応変でいいのではないかなと思います。まず「じゃまだ」と言われないように、もし言われたら鍼とかか現地の方に全部渡して撤収する、そういう感じでいいと思いますね。

鳥山 それに、こちらが無料でやっても、医療費としては全額免除申請が下りるようになったので、鍼灸院に行かれても患者さんの窓口負担金は要らないようです。

— 鍼灸治療のきっかけを作って、継続して治療されるようにすることですね。

高崎 その橋渡しが今回は少しできたのです。NHKテレビで僕たちの活動がライブ放送されて、それを見て地元で開業されていた鍼灸師さん親娘がやって来られて手伝ってくれました(写真3)。僕らが行く前にケー・ウェブで治療をしたいと言ったら、要らないと言われたらしいのです。僕らが帰った後、彼女の治療院には患者さんが増えて、治療に来てほしいと電話もかかってくるようです。そういうふうに地元の鍼灸院を後押しする状況もつくれるのです。

清水 鍼灸師さん同士がネットワークでつながるとすごくいいですね。

高崎 そうなのです。そこが一番。彼女には「私はどこそこで鍼灸院をやっているのですと宣伝しながらやってね」と、ごく自然に、理想的な形でやれました。

— 最後に、今後に期待することや、要望を!

高崎 僕たちのモットーは復興のちょっとのお助けができれば、というところだったのですが、森ノ宮医療学園のなかで学生、卒業生すべてにボランティアに対する意識が定着していけばいいなと思うのです。例えばアメリカではボランティアや募金することが美德とされていて、自然に皆がかかわっているというように、ボランティアリズムが刷り込まれることを願うのです。

須賀 専門学校でも大学でも、ボランティア活動についての発表をさせてもらえる時間とかがあったらいいなと思いますね。「この卒業生がこれだけ頑張っている」ということを知ってもらえて、鍼灸師に対する需要がこれだけあって、そういう活動ができるということを学生や一般の方にアピールできるといいなと思います。そして、少しでもいいから募金箱とかも置かせてもらって…。

— 校友会でも皆さんのボランティア活動をきっかけに横のつながりができればいいですね。

須賀 鍼灸師としてね。治療はできて当たり前で、ほかに何が大事

かという話にもつながっていくと思うのです。次の予約の方の治療の時間が迫っていたにしても「そうか、そうか」と話を聞いたり、そういう場の重要性がわかると思うのです。

高崎 ボランティアしやすい環境へ学園にハンドリングしてもらって、「森ノ宮はボランティアが結構盛んだね」「こういうこともやっているね」となるのが理想です。

清水 ボランティアの対象となるのはたくさんあるので、皆が自発的に参加できるような環境、ボランティア精神の醸成が大事ですね。イベントっぽくならないように。

須賀 いろんな種類のボランティアがあって、それぞれ全部が一個一個なのです。私たちも一個、ほかの方々も一個、「一個一個が大事なやな」と思います。

高崎 それを重く感じないで、ボランティアはできる人ができるタイミングでやる。無理やりやることはなくて、「今日は草むしりのボランティアに来ませんか」と(笑)。

鳥山 ちょっとずつでも「こんなのをやっているよ」というのが広がればいいですね。皆、仕事を持っているので、本当にたまたま行けなかっただけの人もいるし、実際、セラピストで日にちが合わなかったので行けなかった方もいますから。

須賀 ボランティアをちょっとでも経験したら、ほかにつながりやすいというのが絶対にあるのです。私は昔ホストファミリーをしていたのですが、そういうことから動く根っこができてくるのです。

高崎 そうですね。僕も新潟中越沖地震での経験がベースになっています。

— まだまだこれからですね。

高崎 今、再訪に向けて、現地のニーズを調べてもらっているのですが、どんどん仮設住宅に移られていて、体育館に避難されている方は400人ぐらいらしいのです。それで、今度は避難所で働いているスタッフさん、医師や看護師さんら医療従事者の方々、自衛隊の皆さんまで幅を広げてやっていこうかなというのが僕らの目標なのです。

須賀 こっちに居ながらでもできることも考えてはいるのですが、なかなか見つからないまま…。報道でも原発関連が多くなって、震災情報が薄くなっていつているから、被災された方々の気持ちを忘れないようにしていくのも課題かなと思います。

— まだ暑い時期です。皆さん、お体に気をつけて! 本日はありがとうございました。



写真4 ウィンドブレーカーに現地の方々からうれしい寄せ書きをいただきました!